

第21回全国消防救助シンポジウムの開催

消防庁国民保護・防災部参事官

平成30年11月26日（月）、「救助活動事例の教訓を踏まえ検証した効果的な救助手法」をテーマに、第21回全国消防救助シンポジウムを東京都文京区の文京シビックホールにおいて開催しました。

黒田消防庁長官の開会挨拶（次々頁に掲載）に続き、村上全国消防長会会長からご祝辞をいただいた後、独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所/UIAGM国際山岳ガイド連盟の長岡健一氏から「山岳救助におけるリスクマネジメント」について、慶應義塾大学の中西美和氏から「効果的な救助業務に対する内発的動機づけのためのKnow-Why教育」について、それぞれ講演をいただきました。

また、全国の消防職員・救助隊員を代表して、7名の方に事例研究発表をしていただきました。高い問題意識と旺盛な探究心を持って知識の習得や創意工夫に努め、平時からの体制整備や実践的な訓練の実施等に積極的に取り組んでいる姿を伝えていただきました。総合討論では、講演者、特別報告者、事例研究発表者、更には会場の出席者を交えて活発な意見交換が行われました。これらに加え、倉敷市消防局の賀門良介氏には、平成30年7月豪雨災害の活動報告をしていただきました。

本シンポジウムは、全国各地から約1,800名の消防防災関係者が一堂に会し、お互いの経験や新たな取組みに関する情報の共有化が図られ、大変活気のある有意義なものでした。本シンポジウムが我が国の救助体制のより一層の充実に寄与することを期待します。（当日の記録集については、年度末に消防庁ホームページに掲載予定。）



祝辞を述べる村上全国消防長会会長



長岡健一氏の講演



中西美和氏の講演



賀門良介氏の講演



総合討論の様子

第21回全国消防救助シンポジウム プログラム

I 開会あいさつ

消防庁長官 黒田 武一郎

II 来賓祝辞

全国消防長会 会長 村上 研一 様

III 講演

「山岳救助におけるリスクマネジメント」
 独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所 専門調査委員
 UIAGM国際山岳ガイド連盟 国際山岳ガイド 長岡 健一 氏

IV 特別報告

「平成30年7月豪雨災害活動報告（倉敷市真備地区）」
 倉敷市消防局警防課 主幹 賀門 良介 氏

V 講演

「効果的な救助業務に対する内発的動機づけのためのKnow-Why教育」
 慶應義塾大学理工学部管理工学科 准教授 中西 美和 氏

VI 事例研究発表

※発表順

消防本部名	氏名	演題
川崎市消防局	村上 丈史	現場の状況に対応した救出方法の考察について
豊田市消防本部	山本 洋佑	生コンクリート生き埋め事案の救出方法及び隊員の受傷防止について
船橋市消防局	長谷 憲弥	隊員を応急支点とした障害物回避の検証
座間市消防本部	山口 智也	橋上で発生した不安定状況下での救助活動について
北九州市消防局	藤川 良平	大規模土砂災害時における効率的な検索活動のためのマーキング手法
水戸市消防本部	根本 泰成	身体を支点とした高所からの救助手法について
大阪市消防局	工藤 徹也	NBC災害対策について～ G20大阪サミット等広域災害応援を見据えて～

VII 総合討論

「討論テーマ：効果的な救助手法」
 司会：消防庁国民保護・防災部 参事官補佐 布川 賢治

VIII 閉会あいさつ

消防庁国民保護・防災部 参事官 上村 昇

黒田消防庁長官の開会挨拶

第21回全国消防救助シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まずは、全国各地から約1,800名の消防関係機関の方々をお迎えして、このシンポジウムを開催できることを、主催者を代表して、深く感謝申し上げます。

また本日は、全国消防長会 村上会長にご臨席いただくとともに、長岡様、中西様にはご講演をいただくこととなっており、厚くお礼申し上げます。

さて、近年の災害を振り返りますと、全国各地で自然災害が発生しており、本年におきましても4月に大分県中津市において発生した土砂災害、6月の大阪府北部地震、また、7月には西日本を中心とする豪雨災害、さらには9月に発生した北海道胆振東部地震など自然災害による被害は後を絶ちません。このような災害に対して、地元消防本部はもとより、全国各地から緊急消防援助隊が出動していただき、多くの方々を救出していただきました。

救助隊員の皆様には、昼夜を分かたず身を挺して賢明な救助活動を実施していただいたことに改めて敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

このような、頻発する自然災害に加え、都市構造や社会基盤の変化に伴い、複雑多様化する救助事象に対応するため、救助隊員の皆様には、より一層高度な救助技術が求められます。



黒田消防庁長官の開会挨拶

本日のシンポジウムでは「救助活動事例の教訓を踏まえ検証した効果的な救助手法」をテーマとし、過去の災害で直面した課題やそこから得た教訓、その対応策として構築した効果的な救助手法について、皆様と情報共有を図り、我が国の救助技術の更なる発展に寄与することを期待しております。

消防庁におきましては、常備消防力や消防団を中核とした地域防災力など、消防防災体制の充実強化に引き続き取り組んで参りますので、皆様におかれましても、より一層の救助体制の充実強化を図られますようお願い申し上げます。

結びに全国の消防関係機関のますますのご発展と、ご臨席の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、挨拶といたします。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付救助係
総務事務官 堀木 政人
TEL: 03-5253-7507